

2020年12月7日

鹿児島県内の離島医療機関で院内で採血された血液（院内血）による治療を受けた患者さんへ

（ 医学系研究に関する情報 ）

鹿児島大学病院輸血・細胞治療部では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

鹿児島県離島における輸血管理体制、院内採血および院内血輸血のアンケート調査

【研究機関】

鹿児島大学病院 輸血・細胞治療部

【研究責任者】

鹿児島大学病院 輸血・細胞治療部
講師・部長 古川 良尚

【研究の目的】

血液製剤の緊急搬送が難しい離島では、特に緊急輸血を要する病態の治療に困難を来たしています。このような緊急輸血への対応手段の一つとして、院内で採血した血液（院内血）の使用が推測されますが、その実態が明らかになっていません。そこで院内血の詳細な調査を行い、鹿児島県離島での輸血医療の在り方と共に、院内血輸血の効果を検証することを目的としています。

【研究の方法】

鹿児島県の離島医療機関（輸血を必要とする患者に対応する事が想定される医療機関）へ輸血管理体制、院内採血および院内血輸血についてアンケート用紙を送付し、離島での輸血医療の在り方と共に、院内血輸血の効果を検証します。

【対象となる医療機関】

離島の医療機関で、2017年4月1日から2020年3月31日までの間に院内血輸血を施行した可能性のある医療機関<別紙参照>

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

輸血を必要とした基礎疾患、輸血を必要とした主な理由、輸血実施症例の年代（10歳毎）、輸血前の血液検査値、院内血の使用料、輸血以外に行った治療法、併用薬剤、出血リスク因子の有無、第7病日の臨床経過、輸血副作用の有無など

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、公的研究費（厚生労働省「令和元年度血液製剤使用適正化方策調査研究事業」）で実施しますので、利害の衝突は発生しません。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番地1号

鹿児島大学病院 輸血・細胞治療部

講師・部長 古川 良尚

電話 099-275-5635 FAX 099-275-5641